

2007年10月吉日

報道関係者各位

世界 COPD デー推進日本大会運営事務局

世界 COPD デー推進日本大会 2007 のご案内

**医療連携で進めよう！ COPD の早期発見**  
～プライマリケア医と専門医の連携が、COPD の早期発見を促進～

メディアフォーラム：2007年11月6日（火）17:00～18:30

会場： 国際文化会館 ルーム 2

喫煙が主な原因とされる肺の生活習慣病 COPD は、世界の死亡原因第 4 位に挙げられる疾患であり、各国で早期発見・早期治療への早急な取り組みが求められています。COPD に関する世界的な研究・教育組織である GOLD（Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease）<sup>\*1</sup> では、2002 年から、11 月のうちの 1 日を“世界 COPD デー”に制定し、COPD に関するさまざまな啓発活動を推進しています。日本では“世界 COPD デー”に関連して、2002 年に記者発表、2003 年からは一般市民向けの啓発行事ならびに報道関係者への情報提供を行ってきました。2004 年からは「世界 COPD デー日本委員会」を発足させ、啓発活動に取り組んでおります。本年は、11 月 14 日（水）の“世界 COPD デー”に先んじて、報道関係者の皆様に COPD に関する最新の情報や考え方、各地域での取り組みをご紹介しますことを目的に、メディアフォーラムを開催いたします。

日本に COPD の患者さんは 700 万人以上いると推計されていますが、治療を受けているのは、わずかに約 22 万人に過ぎません。未治療患者の受診を促し、早期発見・早期治療につなげるには、プライマリケア医と専門医による密接な連携が不可欠です。

今回のメディアフォーラムでは、GOLD<sup>\*1</sup> エグゼクティブコミッティーメンバーで、世界 COPD デー日本委員会委員長である順天堂大学医学部呼吸器内科 客員教授の福地義之助先生より COPD における医療連携について、「イントロダクションと問題提起」を行った後、「治療面での地域連携の実際（仮）」と題した地域の COPD 治療の現状と課題や「早期発見に向けた医療連携の取り組み（仮）」、札幌で実施する一般市民向けの COPD チェックイベントの結果報告とともに「研究・教育面における医療連携（仮）」の必要性、病診連携の要となる「COPD の医療連携における一般医の役割（仮）」などを各専門医よりご説明いたします。尚、世界 COPD デーの日本での活動については次のホームページでもご確認いただけます。（<http://www.mcp.co.jp/wcd2007/>）

\*1) COPD の医療水準の向上と啓発活動を行うため、WHO（世界保健機関）と NHLBI（米国立心臓血液研究所）の呼びかけのもと、日本を含む世界 50 か国以上の専門家が中心となり発足させた組織。2002 年から、毎年 11 月中旬の水曜日の 1 日を「世界 COPD デー」に制定し、COPD の予防、早期診断・早期治療の普及を目的にさまざまな活動を展開しています。今年も、11 月 14 日（水）が「世界 COPD デー」です。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきたくお願い申し上げます。なお、ご出欠の FAX 返信用紙は、11 月□□日（□）までにご返送いただければ幸いです。

この件に関するお問い合わせ先  
株式会社トークス  
担当：枚田（ひらた）／養祖（ようそ）  
TEL:03-3261-7715 FAX:03-3261-7174

# 医療連携で進めよう！COPD の早期発見

～プライマリケア医と専門医の連携が、COPD の早期発見を促進～

## ■メディアフォーラム

日時： 2007年11月6日(火) 17:00～18:30 (受付16:30より)

場所： 国際文化会館 ルーム2  
(東京都港区六本木5-11-16/TEL 03-3470-4611)

- プログラム： 1. 「イントロダクションと問題提起」  
順天堂大学医学部呼吸器内科 客員教授 福地義之助先生
2. 「治療面での地域連携の実際(仮)」  
日本医科大学呼吸器内科 教授 木田厚瑞先生
3. 「早期発見に向けた医療連携の取り組み(仮)」  
久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門 教授 相澤久道先生
4. 「研究、教育面での医療連携(札幌イベントの結果報告を含めて)(仮)」  
北海道大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授 西村正治先生
5. 「COPD の医療連携における一般医の役割(仮)」  
日本医師会常任理事 今村医院 今村聡先生

- .....
- 主催： 世界 COPD デー日本委員会
- 共催： アストラゼネカ株式会社、アボット ジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、  
グラクソ・スミスクライン株式会社、田辺三菱製薬株式会社、帝人ファーマ株式会社、  
ニコメッドジャパン株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、  
ファイザー株式会社、
- 後援： 札幌市、日本医師会、北海道医師会、日本呼吸器学会、  
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
- .....

## 会場までの地図

